

2019.1.12(土)



# 南アルプス市立美術館 リニューアルオープン



第2展示室



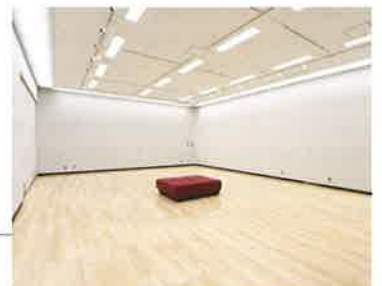
常設展コーナー



市民ギャラリー



研修室



第1展示室



ロビー



南アルプス市立美術館  
MINAMI ALPS CITY MUSEUM OF ART

〒400-0306  
山梨県南アルプス市小笠原1281  
TEL.055-282-6600 FAX 055-282-6601

# 南アルプス市立美術館 リニューアルオープン

2019年1月12日(土)、  
南アルプス市立美術館が生まれ変わります。

平成3年に名取春仙のコレクションを核とした美術館としてこの地に誕生して以来、平成の大合併を経て一昨年には南アルプス市立美術館として新たに生まれ変わりました。また、開館からすでに27年目を迎える中で、大規模な施設改修と増築工事をこの度終え、いよいよリニューアル・オープンの日を迎えることができました。つきましては“市民に開かれた、市民のための美術館”を目標に、次代を見据えた新たな芸術・文化の発信基地を目指して参ります。開館記念展の『ピカソ』のように、革新性に溢れた新しい美術館の活動にご期待をいただきたく、謹んでここにごあいさつ申し上げます。

南アルプス市立美術館 館長 向山富士雄



名取 春仙《六代目中村歌右衛門 道成寺の白拍子》  
木版 1951年 37.5×24.9cm



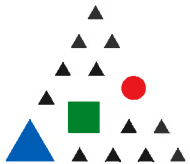
萩原 英雄《曙富士》木版 1990～1991年 34.6×45.4cm



深沢 幸雄《凍れる歩廊(ベーリング海峡)》銅版  
1978年 49.5×74.5cm

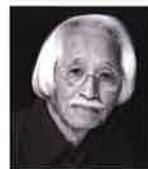


土橋 芳次《春の丘憩う娘達》油彩  
1937年 162.0×227.3cm



## ロゴマーク制作意図

美術館はアートを通して市民との文化活動を活性化する空間です。子供達へはつくることの喜びを伝え、さらに親しみと活気のある場になることを願いながらデザインをしました。まず地域の象徴として、正三角形のスペース内に、幾つもの小さな正三角形を点在させ、空気感のあるアルプスの姿、雪を抱く山々と裾野に広がる豊かな森を表現しました。それは同時に、小さな子供達にも馴染みのあるカタチとして、三角から四角そして円形というシンプルなカタチだけで、2つの集合体からマークを形成しました。正三角形の3辺からなる最小の面積は「個」の出发点、そして4辺の正方形、さらに円への大きな変化を創造への飛躍と捉えました。禅の考えの中でも、三角形は人(座禅の形)正方形は畑、円形は宇宙ととらえています。これからの美術館、その役割と発展の願いを視覚化すること、それがこのロゴマークに込められた意図なのです。



遠藤 享  
ENDO SUSUMU

甲府市生まれ。グラフィックデザイナー  
版画家。デザインではポスター、パッケージ、  
装丁、ネオンデザイン等で受賞があり  
紫綬褒章を受賞している。  
版画作品は大英博物館、サンフランシスコ  
近代美術館をはじめ海外31箇所の  
美術館にコレクションされ、国内では  
京都近代美術館、山梨県立美術館など  
10箇所の美術館にコレクションされている。

日本の最北端の旭山動物園の  
ロゴマークは雪の結晶と  
蝦夷鹿の角をイメージし  
デザインされたものです。  
動物園では日本で最初のロゴ  
マークと言われています。  
遠藤さんが30歳の時に  
デザインしました。



## 交通のご案内

- 電車・バス JR中央線 甲府駅下車(バス利用35分)  
山梨交通バスターミナル  
西野經由小笠原下仲町行き「南アルプス市立美術館」下車  
十五所經由織沢営業所行き「戸田町」下車徒歩10分
- 自動車 県道42号線沿い  
中央自動車道 甲府昭和ICより20分  
中部横断自動車道 白根IC・南アルプスICより5分

美術館公式 facebook はこちらから  
<https://www.facebook.com/235851723615051>



南アルプス市立美術館  
MINAMI ALPS CITY MUSEUM OF ART

〒400-0306  
山梨県南アルプス市小笠原1281  
TEL 055-282-6600 FAX 055-282-6601